

Mizuho Daily Market Report

2025/3/6

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	149.47	148.88	▲0.91	▲0.22
EUR	1.0672	1.0789	+0.0163	+0.0304
AUD	0.6273	0.6335	+0.0063	+0.0030
SGD	1.3364	1.3313	▲0.0076	▲0.0075
CNY	7.2595	7.2369	▲0.0270	▲0.0209
MYR	4.4369	4.4295	▲0.0358	+0.0007
THB	33.66	33.65	▲0.19	▲0.06
IDR	16313	16313	▲132	▲57
PHP	57.32	57.35	▲0.41	▲0.54
INR	87.07	86.97	▲0.30	▲0.23
VND	25515	25512	▲54	▲39

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.279%	+3.4 bp	+2.2 bp
日本(10年)	1.448%	+2.3 bp	+8.1 bp
ユーロ圏(10年)	2.793%	+29.8 bp	+36.0 bp
オーストラリア(5年)	3.909%	+5.6 bp	▲4.3 bp
シンガポール(5年)	2.586%	+2.0 bp	▲11.0 bp
中国(5年)	1.564%	▲0.9 bp	▲4.4 bp
マレーシア(5年)	3.594%	▲0.1 bp	▲0.4 bp
タイ(5年)	1.952%	▲0.7 bp	▲7.1 bp
インドネシア(5年)	6.615%	▲1.9 bp	▲5.7 bp
フィリピン(5年)	5.912%	+3.5 bp	+8.2 bp
インド(5年)	6.628%	▲2.5 bp	+0.8 bp
ベトナム(5年)	2.345%	▲3.8 bp	▲8.5 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	43,006.59	+1.1%	▲1.0%
N225(日本)	37,418.24	+0.2%	▲1.9%
STOXX50(ユーロ圏)	5,489.12	+1.9%	▲0.7%
ASX(オーストラリア)	4,723.11	+0.1%	▲0.1%
FTSTI(シンガポール)	3,898.40	+0.2%	▲0.2%
SSEC(中国)	3,341.97	+0.5%	▲1.1%
SENSEX(インド)	73,730.23	+1.0%	▲1.2%
JKSE(インドネシア)	6,531.40	+2.4%	▲1.1%
KLSE(マレーシア)	1,564.42	+0.6%	▲1.5%
PSE(フィリピン)	6,121.77	+1.0%	▲0.4%
SETI(タイ)	1,206.96	+2.5%	▲2.0%
VNINDEX(ベトナム)	1,304.71	▲0.5%	+0.1%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
ORB	301.47	+0.1%	▲1.2%
金	2,919.39	+0.1%	+0.1%
原油(WTI)	66.31	▲2.9%	▲3.4%
銅	9,586.92	+2.8%	+1.5%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	147.90	—	152.80
EUR/USD	1.0350	—	1.0850
AUD/USD	0.6085	—	0.6430
USD/SGD	1.3300	—	1.3490
USD/CNY	7.2410	—	7.3240
USD/INR	4.3800	—	4.5430
USD/THB	33.20	—	35.15
USD/IDR	16100	—	16600
USD/PHP	57.25	—	59.00
USD/VND	24,100	—	25,600

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は149円台後半でオープン。午前中に行われた日銀内田副総裁の講演内容はサプライズはなく通過。149円台後半でもみ合い、149円台半ばで海外に渡った。昨日のアジア通貨は前日に続き、対ドルで総じて買戻される流れとなった。先週末にかけて売り込まれた分は、今週3日間ではほぼ帳消しにされた状況。尚、1月中旬以降フィリピンペソは堅調な推移を維持しており、昨日のペソは対ドルで0.7%の上昇となった。

海外市場のドル円は149円台半ばからスタート。トランプ米大統領の施政方針演説が行われるも、特段サプライズの発言は見当たらず。その後は米金利の低下を背景とした売りが優勢となり、小幅にじり安となる中NYオープン。朝方に発表された米2月ADP雇用統計が予想を下回ると、米労働市場の減速が懸念され、ドル売りが一段と強まり、148円台半ばへ下落。しかし、続いて発表された米2月ISM非製造業景況指数ヘッドラインが予想を上回ると、149円台に回帰。午後はトランプ政権が対カナダとメキシコへ発動した関税案を巡り、自動車の部分については1か月延期する可能性があるとの一部報道が下値を支え、その後149円手前でクローズ。

【金利】

昨日の米債10年利回りは労働指標を受け一時大きく低下するも売り戻され、前日比では+3.4bp高い4.279%で着地。NY朝公表された米2月ADP雇用統計後は一時最大8bp程度下落幅を見せるも、その後の米2月ISM非製造業景況指数の内の雇用指数が凡そ3年3か月振りとなる強さを示すと反転上昇に転じ、クローズにかけてはじり高の展開となった。

【予想】

本日のドル円は方向感に欠ける展開を予想。目下、相次いでユーロ圏で大規模な経済刺激策が打ち出されている。これに反応し欧州金利は稀に見る大幅上昇を観測、欧州株式市場は関連銘柄がけん引しリスクオン状態となっているが、持続性には疑問符。ユーロ売りに対するドル買いの流れとなった際、ドル円も連れ高となる可能性に注意したい。

【本日の予定】

(日本) 2月 東京オフィス空室率
(日本) 国債入札(30Y)
(アジア) 1月 フィリピン 失業率
(アジア) 1月 豪 住宅建設許可件数 / 民間部門住宅
(アジア) 1月 豪 貿易収支
(アジア) 2月 ベトナム CPI / 貿易収支
(アジア) 2月 ベトナム 鉱工業生産 / 小売売上高
(アジア) マレーシア 金融政策会合
(欧州) 1月 ユーロ圏 小売売上高
(欧州) 2月 独 HCOBドイツ建設業PMI
(欧州) 2月 英 DMP 1年インフレ率予想
(欧州) 2月 英 DMP 3か月販売価格予想 / DMP 1年インフレ率予想
(欧州) 2月 英 建設業PMI
(欧州) ECB政策理事会
(欧州) ラルド ECB総裁会見
(米国) 1月 卸売在庫(確) / 卸売売上高
(米国) 1月 貿易収支
(米国) 2月 チャレンジャー人員削減数
(米国) 4Q 非農業部門労働生産性(確) / 単位人件費(確)
(米国) ウォラーFRB理事講演
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。